

第3回香南市こども議会Q&A



Q 全国的に高齢者による自動車事故が相次いでいます。香南市は高齢者事故にどう対応していくのですか。

A 市としても早急に対応策を構築していきたいと考えていますし、市だけでなく県と一緒に取り組んでいく必要があると思います。

具体例を挙げると、踏み間違い防止装置を自動車に取り付けることや被害軽減ブレーキなどの新しい安全技術が取り付けられた「安全運転サポート車」の購入に補助をすとか、高齢者運転のための安全運転講習を多くの方に受講をしてもらうとか、運転をするのに支障をきたしてきた方に積極的に免許証の返納をってもらうことです。また、交通事故が多く発生するような「危険な場所」に、車止めなどの安全装置をつけることなども考えていきます。

今日、話したことをぜひ家へ帰ってからおじいさんやおばあさんにも話してもらって、今後、市あるいは県が高齢者の運転や安全運転サポート車の購入などにどんな支援をしているのかに注意して、新聞などを見てもらえたらと思います。

(市長)



Q 観光客に向けて公衆トイレが少なかったり、外国語のガイドが少なかったりしています。特にガイドは、英語だけでなく、中国語、韓国語なども設けてみてはどうでしょうか。

A 市では、外国人観光客に向けたさまざまな取り組みを行っています。まず、夜須町のヤ・シィパークや赤岡町の絵金蔵・弁天座などの観光施設では、案内看板の日本語以外での表示、トイレの洋式化、無料でインターネットが使えるWi-Fiの設置などを行っています。

また、昨年は市内の飲食店や、観光施設のスタッフの方を対象に、外国人観光客との対話ができるような研修会を行い、今年も引き続き行います。さらに、今年は中国や台湾など、東アジアからの観光客の増加を見込んで、これまで英語版しか作っていなかった香南市の観光パンフレットを、中国語版と台湾語版を新しく作ります。

質問の外国人観光客に対するガイドについては、市では中国語や韓国語を話せる方が少ないため、現状ではたいへん難しい問題ですので、県やほかの市町村とも一緒にガイドへの対応を考えていきます。

(商工水産課長)

Q 部活動に制限ができて練習時間が短くなっていますが、今までどおり部活をすることはできませんか。できないのであれば個人練習するグラウンドをつくることはできませんか。



A 最近では、運動部活動に勝つことを重視した活動へと過熱する動きが見られること、激しい練習のため怪我や体を故障する選手がいることなど、健康上の問題や働き方改革による先生の時間外労働の問題もあり、その結果、運動部活動のモチベーションを見直すことになりました。

市内すべての中学生にアンケートを行った結果、1週間に2日の休養日を取り、平日の練習時間は2時間程度、休日の練習時間は3時間程度が良いと回答した人が一番多く、これは国の運動部活動のガイドラインと同じ内容でした。現在は、そのガイドラインに沿って運動部活動が行われていますので、練習時間を以前に戻すことは難しいと思います。また、個人が練習するグラウンドをつくることは、予算の面からも難しいです。

今後も運動を楽しみながら、さらに充実した中学校生活を送れるよう、部活動の練習方法を見つめ直してはどうか。

(学校教育課長)

Q 晴れても、雨でも、いろんな人が集まって楽しめる公園が欲しいです。



A 現在、市が管理している公園は野市町内に61カ所ありますが、ほとんどが住宅団地内の小規模なものです。質問のような公園は、県立のいち動物公園だけです。そんな公園を作るには、ある程度の広い土地が必要で、土地の確保が難しいこと、公園を作るのにかかる土地代や工事費、作った後の公園の管理費など、課題が多く、そのような公園を作るのは難しいです。

県立のいち動物公園の敷地横の遊具があるスペースを動物公園と協議をしながら広めていこうとか、あるいは三宝山がありますが、民間の方が所有者から三宝山の山と上のお城を買って、三宝山を観光施設にというお話があります。市も一緒になって、さまざまな取り組みを今後進めていきますが、質問された公園も検討の中に入っています。

(市長)

香南市教育委員会ホームページ
http://www.city.kochi-konan.lg.jp/kyoiku/
学校教育課 ☎0837-57-7521



香南市をよりよい

まちににするために

一緒に考えよう

議長を経験して

夜須中学校3年生
野村優希 議長

私は今回、こども議会に参加するという貴重な体験をさせていただきました。まず、議場に入ったとき、こんな場所に入っていたのか、と感じました。こども議員として、香南市をよりよくする活動に参加できたことをうれしく思います。

議長席からいろいろな意見も聞かせていただきました。自分の学校や住んでいる町の課題点から、市の議員さんや議長さんはたくさん苦労しているなど感じたとともに、議長というすごい役割を任せさせていたただいたことに感謝しています。議員さんの意見から、地元への強い愛を感じました。この意見をもとに、きっと香南市はよりよくなると思うし、私も、育ててくれた香南市を大切にしようと思いました。

これからも意見交換できるような場を大切にしてほしいし、こども議員としての体験は新たな発見と自信につながるものと思います。

※掲載にあたり、発言の一部を誌面に編集しています。また、詳しい会議録は、市教育委員会ホームページに掲載する予定です。

7月31日(水)に香南市議会議場で第3回香南市こども議会が開催されました。この日、議員を務めた子どもたちは市内の小中学校から選出された19人。子どもの視点から市へ質問や提言を行いました。子どもたちの質問や提言に答えた清藤真司市長をはじめそれぞれの課長からは、「よくニュースを見ていて、タイムリーな話題についての質問が多かった」、「これからも積極的に市の活動に参加して欲しいし」、「堂々と議場に立った子どもたちに感心する声が聞かれました」。

その質問と答弁の主な内容を次ページから紹介します。

議長

夜須中学校
野村 優希